

筆まめのContactXML対応で 何が変わるか？

May/30/2002

株式会社クレオ

プロダクトサービス事業部 小笠原徳夫

IT推進部 押尾孝浩

Contents

- 
1. 筆まめと事業のご紹介
 2. ContactXML対応のメリット
 3. 筆まめ2002のContactXML対応

1.筆まめと事業のご紹介

-ContactXML採用の背景-

May/30/2002

株式会社クレオ
プロダクトサービス事業部
小笠原 徳夫

筆まめの基本機能

- 住所録
- 印刷
- 文面編集
- 画像処理
- コンテンツ
- ソフト/デバイス連携
- インターネットサービス

筆まめVer.12でのデータリンク

● ソフト連携

- 駅すぱあと
- 写録宝夢巢
- MapFan
- Z[zi:]
- プロアトラス
- ケータイ・エディ
- まいとーくColorFAX

● デバイス連携

- Palm
- PocketPC
- ザウルス
- 携帯電話

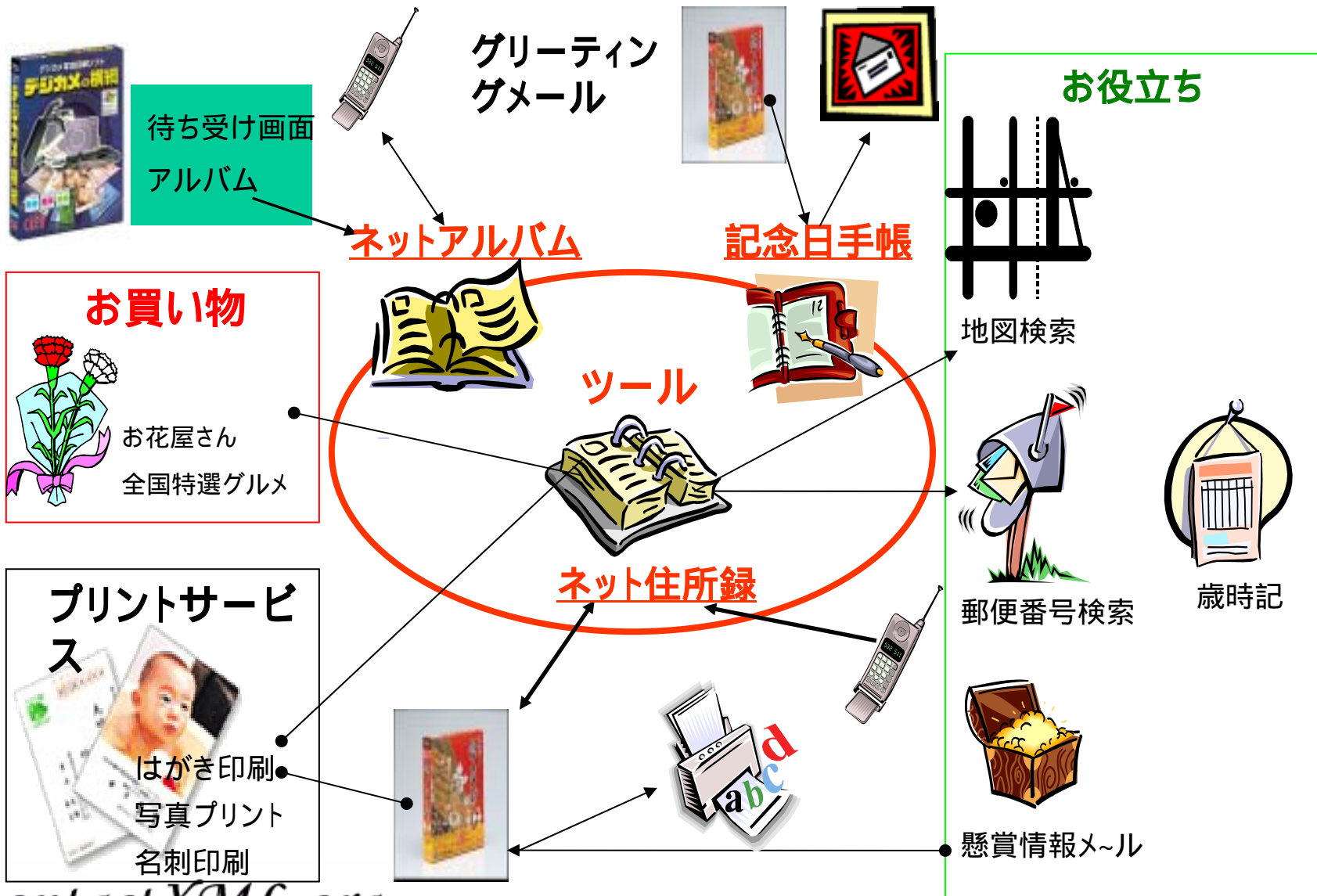
● ウェブサイト連携

- MapFanWeb
- FDiサービス(富士写真フィルム)
- Kodakデジタルサービス
- CUISE(名刺交換)
- (具満タンWeb)

● 筆まめネット

- ネット住所録
- グリーティングメール
- はがき印刷サービス
- 写真プリントサービス

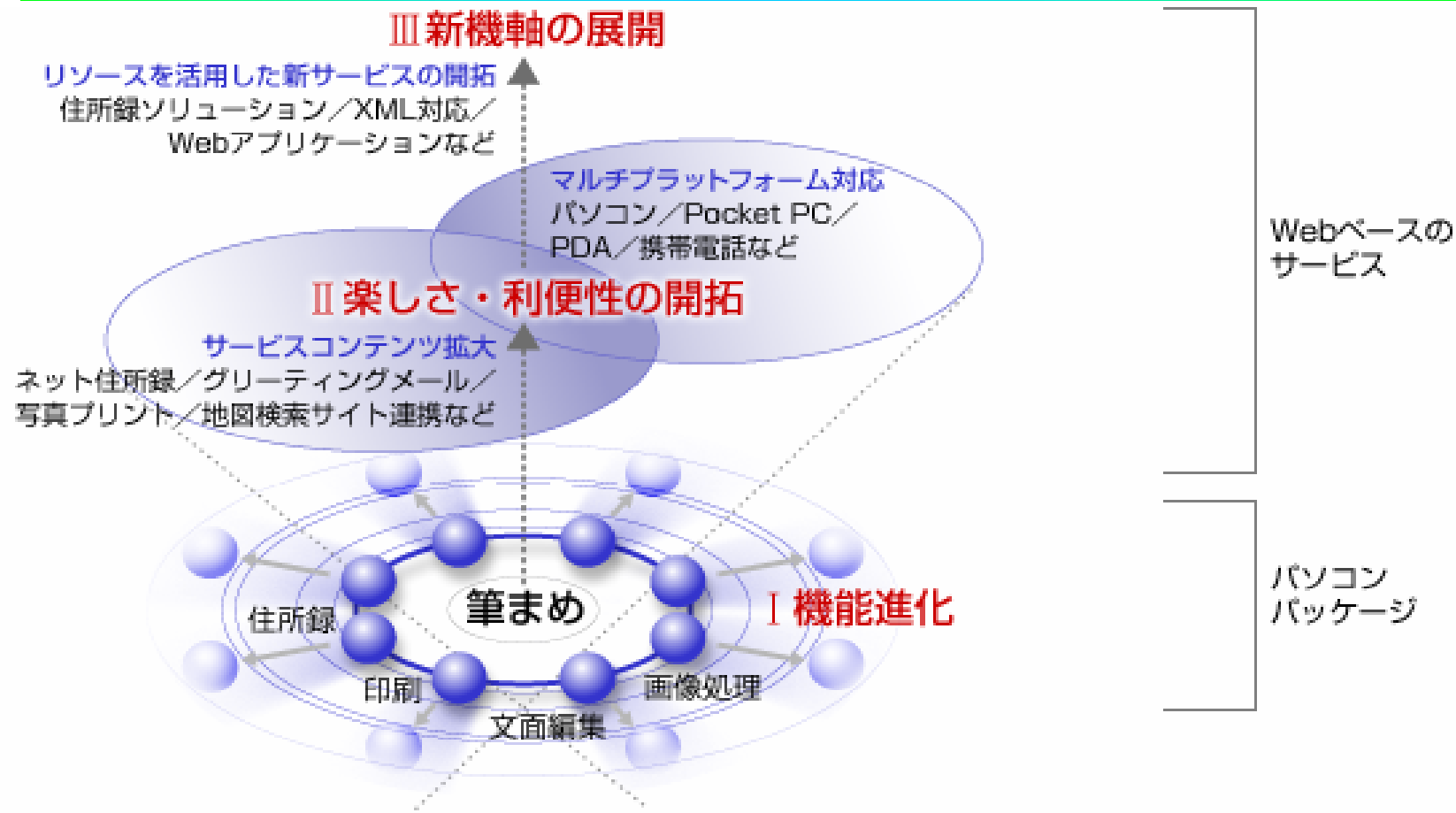
筆まめネット



プロダクトサービス事業



未来筆まめ



2. ContactXML対応のメリット -住所録データの利用範囲の拡大-

May/30/2002

株式会社クレオ
プロダクトサービス事業部
小笠原 徳夫

住所録の問題点

PC、PDA、携帯電話などのデジタルデバイスが急速に普及し、同じコンタクト情報がいろいろな場所に格納されている。

1つを修正してもすべての情報が更新されない。違う操作で、同じ更新作業を繰り返す必要がある。

PC利用者は、必要に応じて、宛名印刷ソフト/PIM/グループウェア/メール/スケジューラーなどの各ソフトへ同じコンタクト情報を入力している。

1箇所を修正してもすべての情報が更新されない。同じ更新作業を繰り返す必要がある。

現実社会でも、据え置き型のアドレス帳、システム手帳、名刺、年賀はがきなどにコンタクト情報が散在している。

郵便番号の変更、市町村合併などで情報がすぐに陳腐化する。

ビジネスの場面でも名刺情報が、毎年、部署名変更/人事移動があり、更新の必要性がある。

人脈の多い人ほど、更新作業に時間がかかる。できれば、自動化したい。

ContactXMLの採用、住所録のオープン化によるメリット

企業

- 企業内での取引先情報の共有が可能
- 企業間での情報の共有が可能

- 情報共有が効率化され、生産性が向上する
- 情報共有がスピーディーになり、顧客満足度も強化される

個人

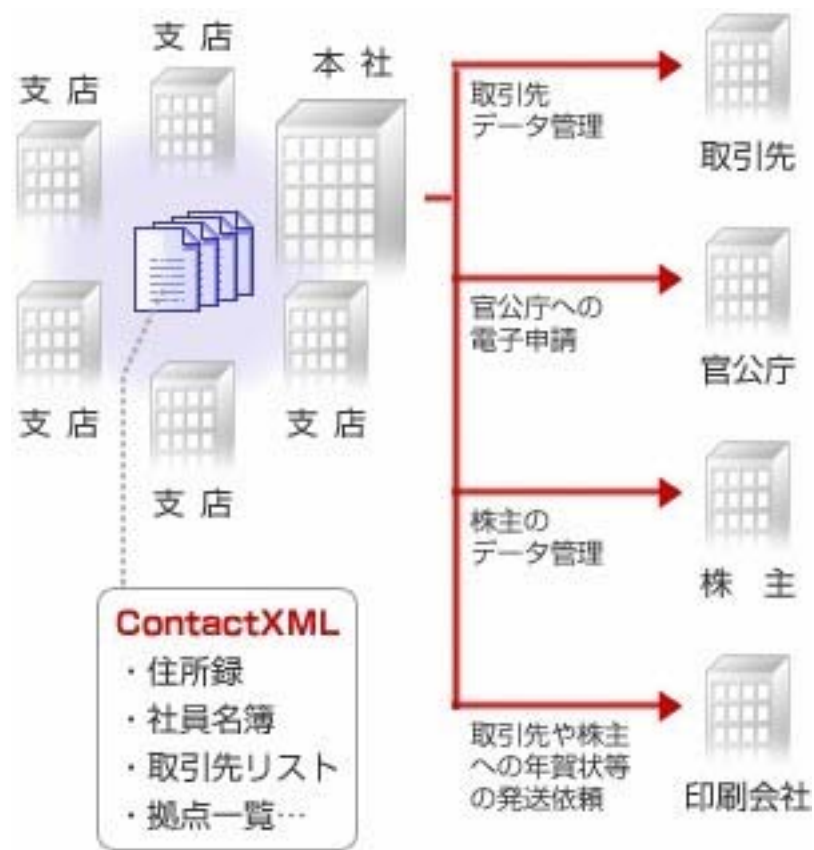
- あらゆるデバイスから、統一された住所録の取得が可能
- 共有された住所録であれば、情報の変更は自動更新される

- これまでデバイスごとになっていた住所録が一括管理できる
- 変更があった場合の更新の手間が削減される

企業での利用イメージ

たとえば、社内での情報共有・一元管理に...

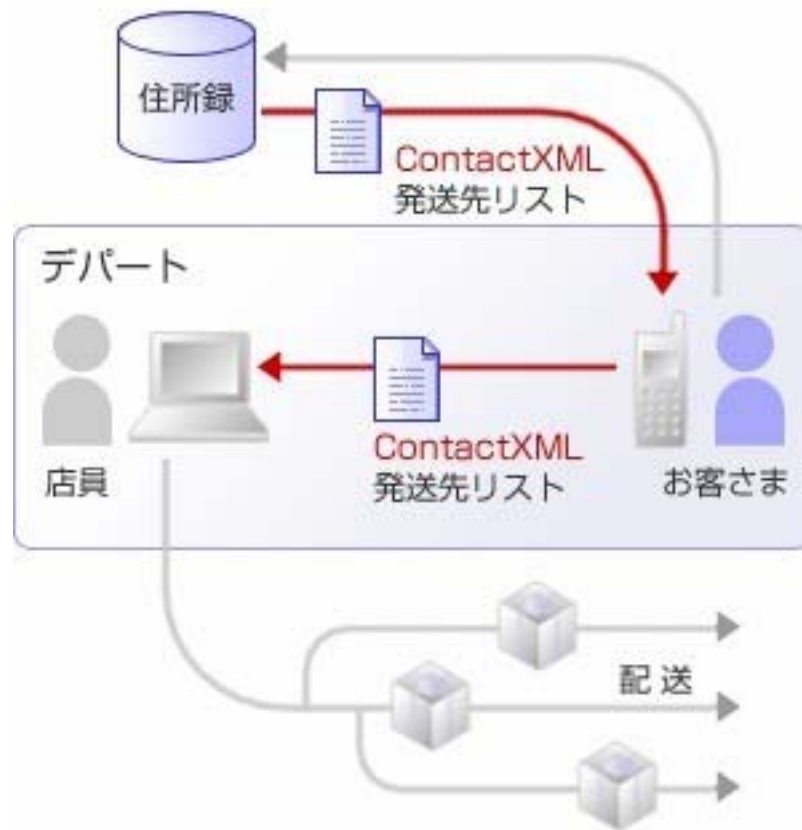
ひとつの企業内でも、取引先や社員、拠点の連絡先などのコンタクト情報が部署・支店単位で個別に管理・運営されていて、メンテナンスや部署間での情報の受け渡しに労力がかかっているケースがよくあります。これらをContactXMLベースにすることで、既存の業務システムはそのままに、共通データベースを新たに構築することもなく情報を共有・一元管理することが可能です。



個人での利用イメージ

たとえば、お歳暮・お中元などの
買い物で...

季節の贈答品などを、購入した店舗から直送してもらうとき、送り状を書くには大変な手間がかかります。それに対し、ContactXMLに準拠したサービスでは、例えば携帯電話やPDAから住所録データベースにアクセスし、必要な情報をデパートの端末機に送信すれば手続き完了、といったことも実現できます。



開発コストの低減 開発期間の短縮

- ファイルフォーマット解析が不要
- 専用開発キット/SDKが不要
- 当事者間の打ち合わせ/契約が不要

企画からプログラミングまで
クリエイティブな作業時間の増大

- エンドユーザーのための機能改善/拡張
- ユーザーインターフェースの改良

業務システムへのデータ転用

- 筆まめ(年賀状ソフト)の利点
 - 住所入力が簡単(郵便番号/電話番号変換)
 - 充実した印刷フォーマット(はがき、封筒...)
 - 低価格(3,000 ~ 5,000円)

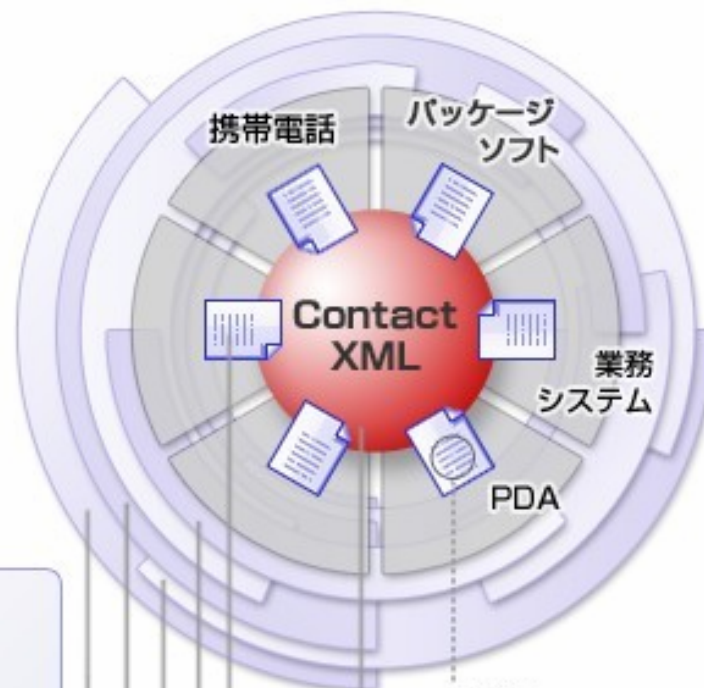
フロントエンドとして利用可能

- 顧客管理/CRM/SFAなどへのデータ入力

これまでは



ContactXMLに準拠すると



コンタクト情報を共有できるシステム・アプリケーション例

業務システム

- ・BPR
- ・CRM
- ・ナレッジシステム

モバイルアプリケーション

- ・携帯電話
- ・PDA

Contact XML

パッケージソフト

- ・宛名管理ソフト
- ・メール
- ・PIM
- ・筆まめ

- ・住所録
- ・取引先リスト
- ・メールアドレス帳
- ・社員名簿…

情報の共有と互換性

拡張性

インターネット上での多彩なサービス連携

3. 筆まめ2002のContactXML対応 - 対応範囲と成果 -

May/30/2002
株式会社クレオ
IT推進部
押尾 孝浩

筆まめ2002 ContactXML サポート

「筆まめ2002」は、「ContactXML 1.1」を深いレベルでサポートする。

- ・ContactXML データマッピング

全てのアドレス帳フィールドのデータを ContactXML にマッピング

- ・ContactXML インポート/エクスポート

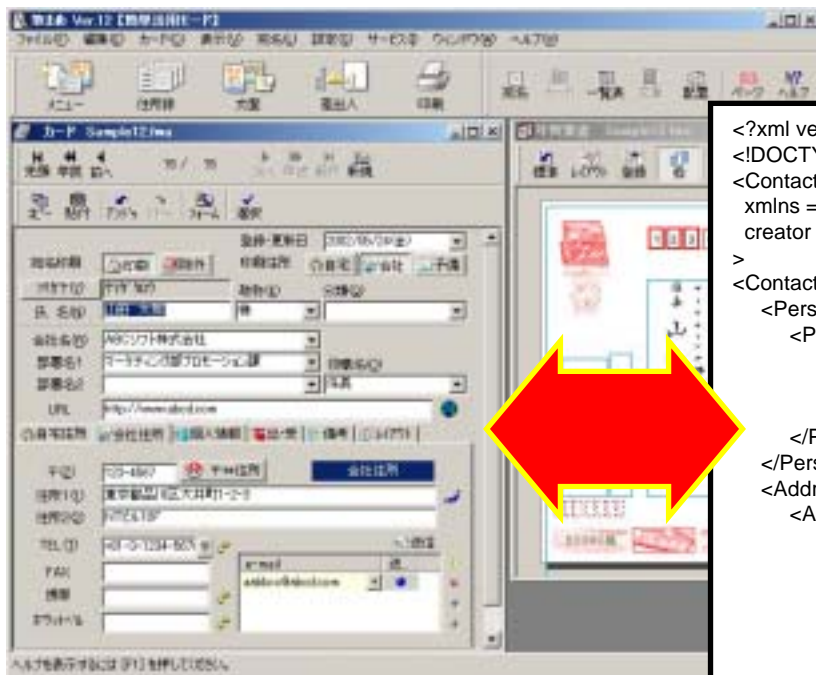
ContactXML 形式で1件～複数件単位でインポート/エクスポートすることが可能

- ・ContactXML データ交換プロトコル

「ContactXML over HTTP/S (独自プロトコル)」により Internet を介した ContactXML データの交換が可能

ContactXMLデータマッピング

「筆まめ2002」は、アドレス帳のすべてのデータを「ContactXML 1.1」にマップする。

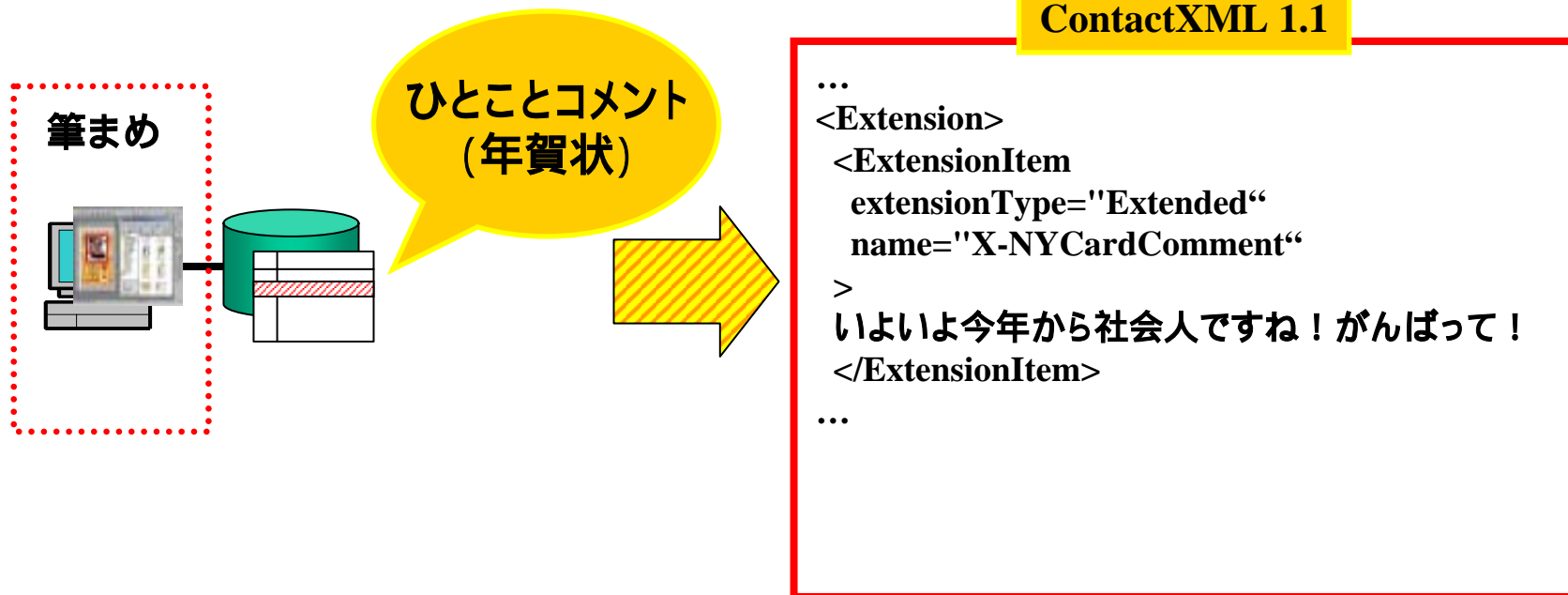


ContactXML 1.1

```
<?xml version = "1.0" encoding = "Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE ContactXML SYSTEM "ContactXML_01_01_20020312.dtd">
<ContactXML
  xmlns = "http://www.xmlns.org/2002/ContactXML" version = "1.1"
  creator = "http://www.creo.co.jp/psd/MameX/1.0"
>
<ContactXMLItem>
  <PersonName>
    <PersonNameItem xml:lang="ja_JP">
      <FullName pronunciation="ヤマダ タロウ">山田 太郎</FullName>
      <FirstName pronunciation="タロウ">太郎</FirstName>
      <LastName pronunciation="ヤマダ">山田</LastName>
    </PersonNameItem>
  </PersonName>
  <Address>
    <AddressItem locationType="Office" xml:lang="ja_JP">
      <AddressCode codeDomain="Country">JP</AddressCode>
      <AddressCode codeDomain="ZIP7">123-4567</AddressCode>
      <AddressLine addressLineType="Country">日本</AddressLine>
      <AddressLine addressLineType="Prefecture">東京都</AddressLine>
      <AddressLine addressLineType="City">品川区</AddressLine>
      <AddressLine addressLineType="Town">大井町</AddressLine>
      <AddressLine addressLineType="Number">1-2-3</AddressLine>
    </AddressItem>
  </Address>
  ...
</ContactXMLItem>
</ContactXML>
```

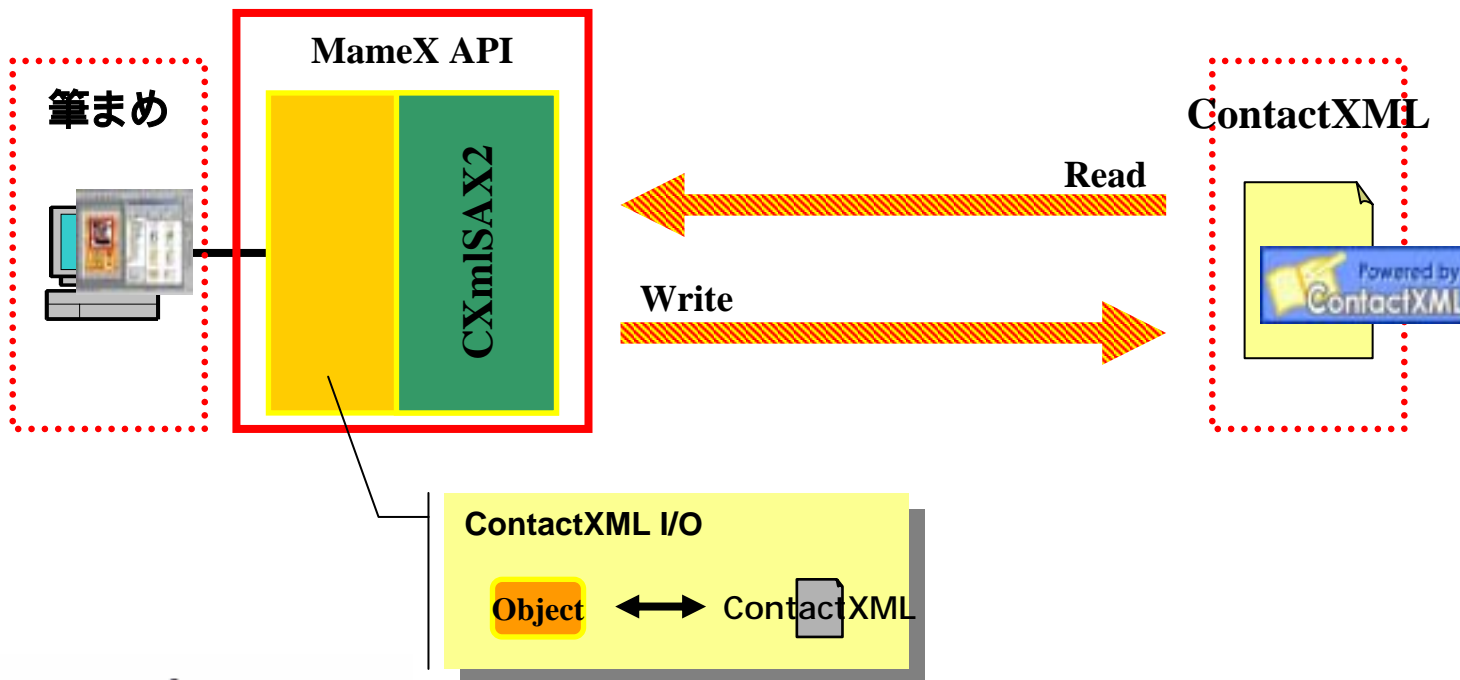
「筆まめ」固有のデータ:

標準でマッピングしきれない「筆まめ2002」固有のデータは
<Extension> 要素にマップ。



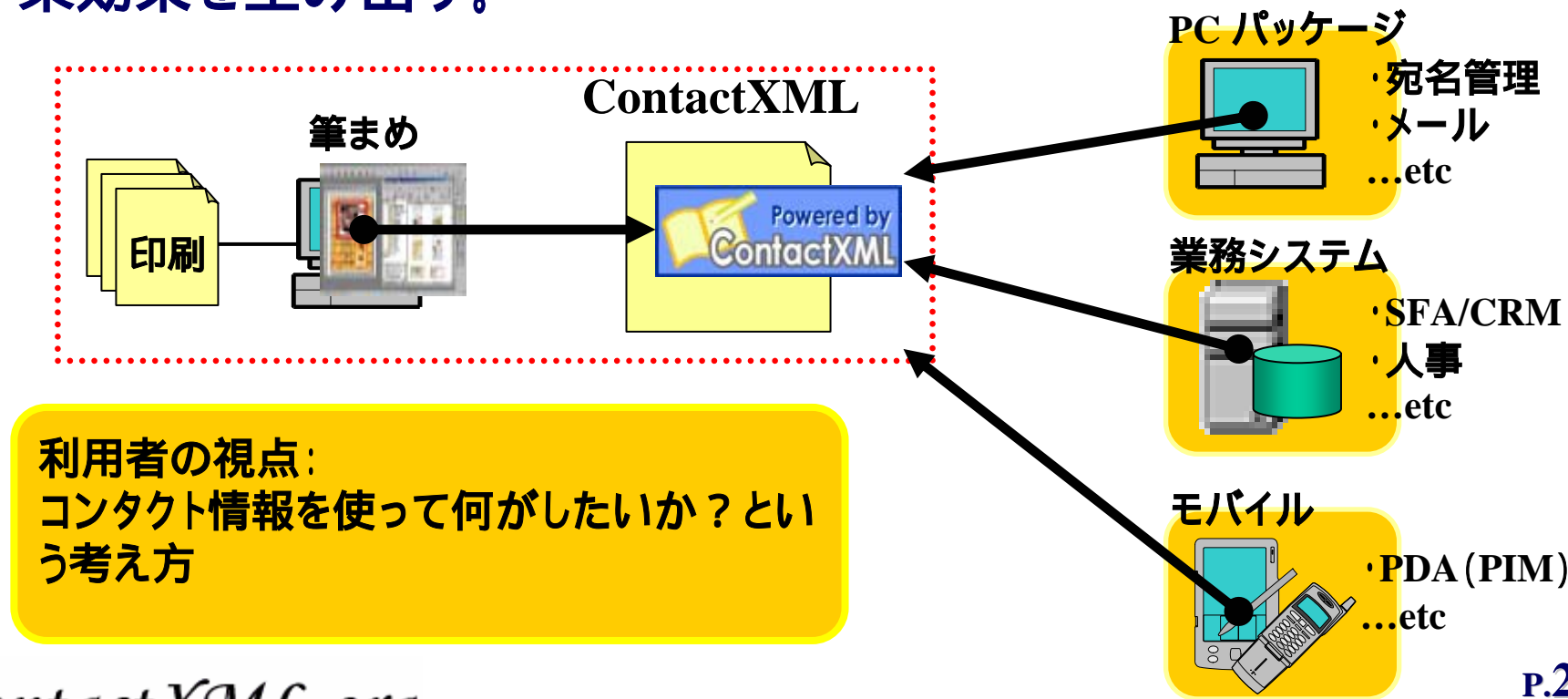
ContactXML インポート/エクスポート

「筆まめ2002」は、ContactXML 形式で1件～複数件単位でインポート/エクスポートすることが可能。



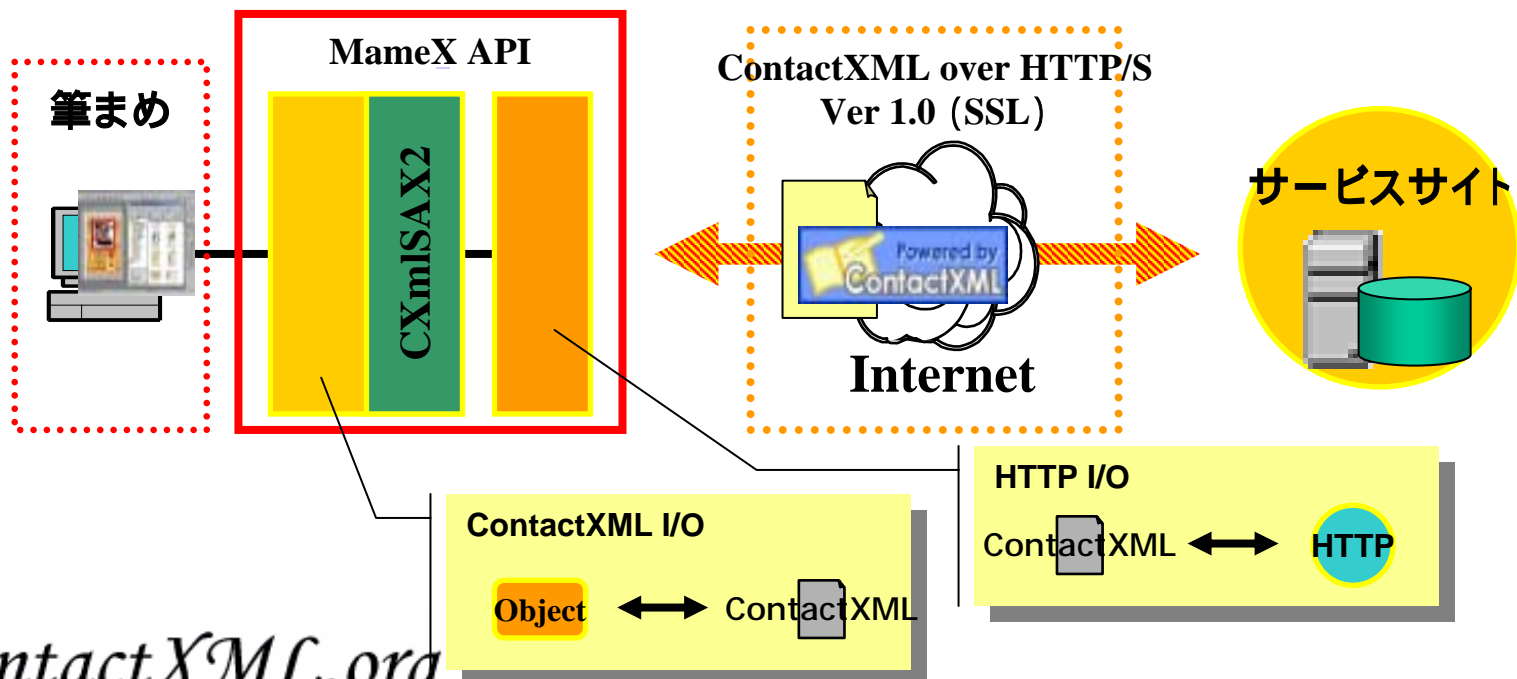
メリット:

ContactXML を解するすべてのアプリケーション間での相乗効果を生み出す。



ContactXML データ交換プロトコル

次期バージョンの「筆まめ2002」は「ContactXML over HTTP/S (独自プロトコル)」により Internet を介した ContactXML データの交換が可能。



成果は...:

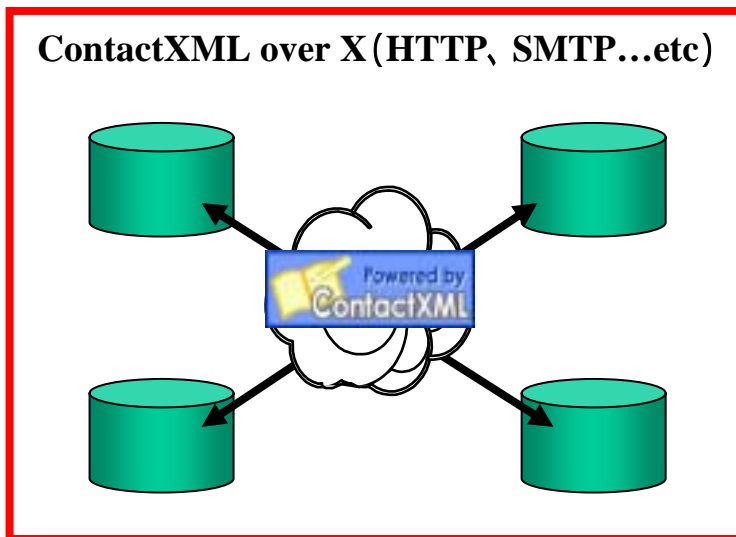
「ContactXML over HTTP/S」を ContactXML 部会に標準的な転送プロトコルバイディングの素案として提案する。

ContactXML :
 コンタクト情報の標準的な定義を完了。



ContactXML over X (HTTP ...etc) :
 異なるシステム間でのネットワークを介した標準的なデータ交換方法が求められる。

相互に交換・可能な活きたデータに...



このスライドに関する質問は、
株式会社クレオまでお願いします。

株式会社クレオ プロダクトサービス事業部

連絡先: 小笠原 徳夫 (オガサワラ ノリオ)

メール: contactxml@creo.co.jp

Web: <http://www.creo.co.jp/>

住所: 横浜市港北区新横浜3-17-2 友泉新横浜ビル10F

電話: 045-475-1691 (FAX) 045-475-0964